

# 「信州みちビジョン」について

平成 30 年(2018 年)3 月 23 日  
建設部 道路建設課 計画調整係  
(課長) 白田 敦 (担当) 下倉正弘  
電 話 026-235-7304(直通)内線 3414  
Eメール michiken@pref.nagano.lg.jp

## 1 概要 (背景と目的等)

近年、道路に求められる役割が多様化するなど状況が変化中、時代の要請に応じた道路の整備や活用など、今後 10 年間のみちづくりの方向性を示すものとして「信州みちビジョン」を策定しました\*。(計画期間 2018~2027 年度)

今後、県民の皆さまの道路事業への理解を深める際に活用するとともに、道路事業実施時の指針とすることを目指しています。

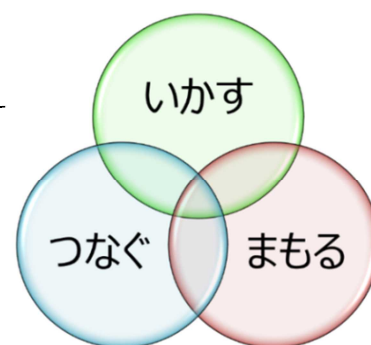
\*:「信州みちビジョン検討委員会」の議論に加え、意見交換会やパブリックコメントなど県民意見もふまえ策定

## 2 基本目標と基本方針

▶基本目標「つなぐ・まもる・いかす 信州のみちづくり」  
(3要素をバランスよく進めていきます)

▶基本方針

- ・ つなぐ(自動車中心から多様な利用者重視の道路網へ等)
- ・ まもる(高齢者配慮強化、想定以上の災害も考慮へ等)
- ・ いかす(自然環境や地域資源、情報技術の活用 等)



## 3 重点分野

### I 『持続可能で快適な暮らしを支えるみちづくり』

- (1) コンパクト+ネットワークに資する道路網の構築
- (2) 低炭素社会を目指した道路整備
- (3) 誰もが安心して移動できる道路環境整備

【写真】  
歩道等の  
要整備箇所



**整備効果** 照明 LED 化による CO2 排出量削減 [現状約 1 万 t-CO2/Kwh] ▶約 **8** 割削減  
通学路安全対策箇所の整備率向上 [現状 82%] ▶**100%**+必要箇所の対策 など

### II 『県土の強靱化を担うみちづくり』

- (1) 災害時の人や物資輸送の確保・早期復旧
- (2) 災害対応の迅速化を目指した道路機能等の強化

【写真】  
緊急輸送路  
の整備例



**整備効果** 緊急輸送路整備により県災害対策本部\*とつながる防災拠点数\*\*増加 [現状 74%] ▶**83%**  
主要な道路施設点検の実施率向上 [H26 法定点検開始] ▶5 年毎 **100%**実施 など

\* : 災害対策本部地方部(10 の合同庁舎)含む、 \*\* : 市町村役場(主な支所含む)、拠点病院、拠点ヘリポート、物資輸送拠点

### III 『観光や産業の振興を進めるみちづくり』

- (1) 産業の生産性や観光の周遊性を高める道路整備
- (2) 観光・産業交通をふまえた安全・安心な道路整備
- (3) 移動を楽しめるみちづくり

【写真】  
トイレの  
洋式化例



**整備効果** リニア関連道路整備等による東京 90 分圏域伊那谷人口カバー率向上 [現状 0%] ▶**85%**  
道の駅(県管理)のトイレ洋式化率向上 [現状 60%] ▶概ね **100%**+快適性向上 など